

キバナコスモス集会

～第16代校長 ○○○○先生 来校～



9月20日、平成10年に「オレンジ計画」をスタートさせた当時の校長先生であった、○○○○先生においでいただき、「なぜ、東湖小学校にキバナコスモスを植えたのか」を話していただきました。○○先生は、「その頃の東湖小学校の子どもたちも先生方も元気がなかったこと」「オレンジ色の花は、きっと東湖小学校を元気付けてくれると考えた」と、理由を教えてくださいました。

台風が来て葉に塩が付き、花が咲かないかもしれない危機に陥ったときに、6年生の「塩を洗い流したらよい」という発案から全校のみんなで水かけを頑張り、見事に花を咲かせたエピソードを紹介してくださり、「失敗したら相談したらよい」「一人ではなく、みんなで知恵を出し合って」という言葉が添えられました。また、各学年の取組については、「地域とつながる計画をぜひ進めてほしい」「一人一人の課題になっていることが大切」と呼び掛けられ、今後の「令和版『オレンジ計画』」に、一層弾みのつく一時間となりました。



○○ ○○○元校長先生



3年生は、しおり作りや染め物にチャレンジする計画です



4年生は、押し花作りで、地域とつながりたいと考えています



5年生が募集している標語が、夢のあるキャッチフレーズになったら素敵です

「花いっぱい大作戦」も同時に展開中の3年生は、会場準備や司会も担当。6年生も顔負けの、堂々たる進行でした。



6年生は、キバナのキャラクター考案。「オレンジ計画」にぴったりのキャラクターを生み出すことができるかな



* 各学年からの感想発表…今度は、活動の成果を○○先生に報告できたらいいですね



10月 キバナコスモスに触発されて

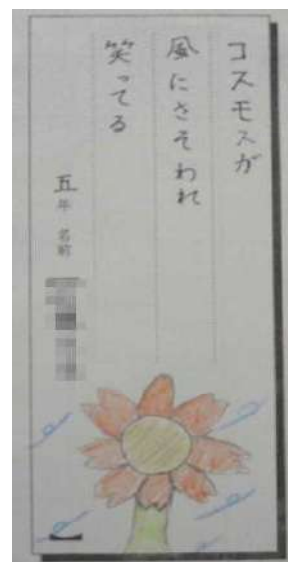
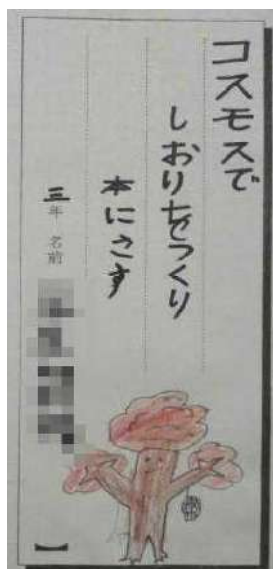
◇校内で、キバナコスモスを題材にした「秋の五七五」や造形作品を見かけることが多くなりました。キバナコスモスが、いつの間にか「私たちの花」になっていると
いうことの表れでしょうか。



平成11年度制作の押し花作品は
今も色鮮やかです



2年生のちぎり絵作品

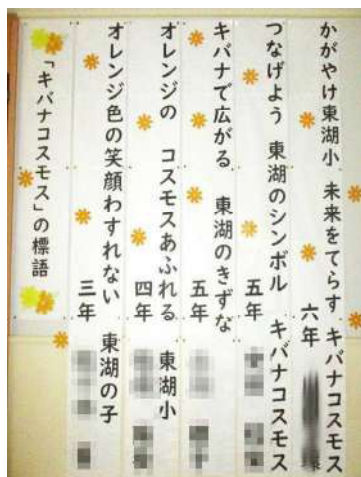


◇9 / 14、今年初めての種を取りました。
この種の様子を、何と云って表現したら
よいでしょう。子どもたちに尋ねてみる
と、「花火みたい」「たんぽぽの綿毛のよ
うにも見える」「一粒だと細めのカカオ
かな」と様々な答えが返ってきました。
◇他にも、「はりねずみ」「たわし」「さぼ
てん」「とげ」「ひじき」と話す子ども
たちもいました。



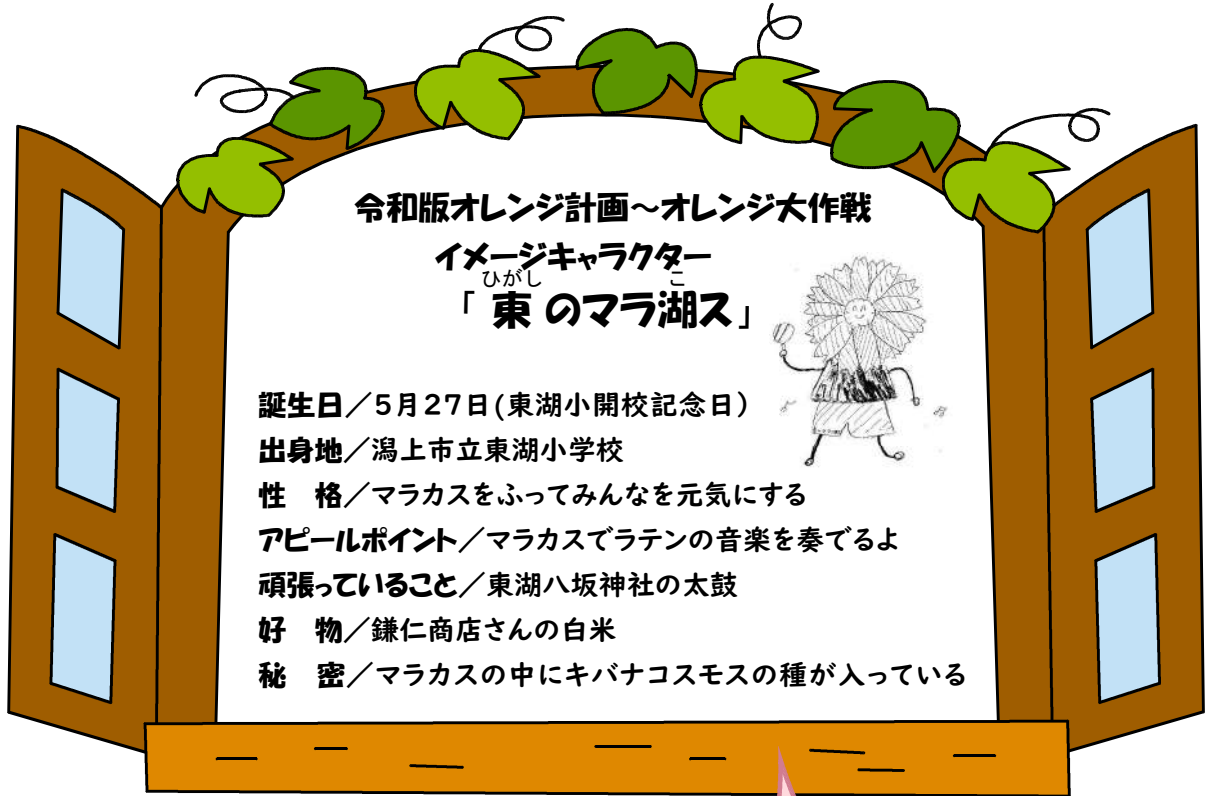
10月28日（土）学習発表会で

- ◇学習発表会に来てくださった方々に、キバナコスモスの種を差し上げました。種の袋には、5年生企画の標語募集から選ばれたキバナコスモスの標語や、6年生企画のキバナキャラクター「東のマラ湖ス」がデザインされています。
- ◇種袋のQRコードを読み込むと、東湖小学校ホームページを見ることができるようになっています。
- ◇オレンジ大作戦の看板も立ちました。まだまだ、つぼみがたくさんついているキバナコスモスを、4つの看板とともに楽しみください。



令和版オレンジ計画～オレンジ大作戦イメージキャラクター

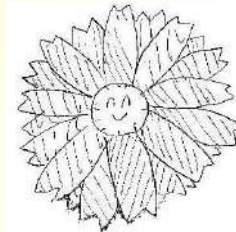
「^{ひがし}東の^こマラ湖ス」を紹介します！！



来年の春、あたたかくなったら、ぜひ、家のまわりや職場などに種をまいてください。
きっと、オレンジ色の花が、あなたを元気づけてくれますよ。

東湖小学校のキバナコスモス

平成10年にスタートした「オレンジ計画」。「オレンジ色のキバナコスモスで学校を明るくしよう」と、神奈川県の上溝(かみみぞ)小学校から分けてもらった種をまいたのが始まりです。一粒の種が時代を超え、令和の今につながっています。「令和版オレンジ計画」では、「学校や私たちのまちを、オレンジ色の花で元気にしたい」という願いを引き継いでいます。



キバナコスモスの育て方

【種まき】

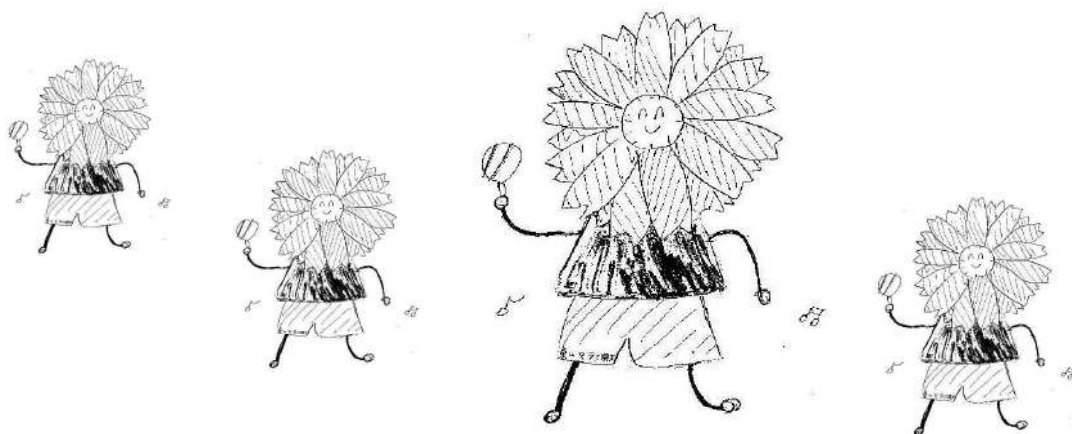
- * 気温が20～25℃くらいになる4～7月が目安です。東湖小学校では、6月中旬に、全校で種をまきました。
- * あらかじめ穴をあけて数粒の種をまく「点まき」、板などで作ったすじにまく「すじまき」、花だんの全体にまく「ばらまき」の3つの方法があります。
- * 種をまいたら、1cmほど土をかぶせて水を静かに与えてください。

【間引き】

- * 発芽してすぐのころと双葉が出たころに、間引き(まびき)として育ちの悪い芽を抜きます。花だんでは、最終的に20～30cmほどの間隔で1本の芽を育ててください。ポットの苗も1本を残し、本葉が3～4枚になったら植えつけます。

【水やり】

- * 花だんに植えたキバナコスモスには、ほとんど水やりの必要がありませんが、今年のような猛暑で日照りが続くときや極端に乾燥したときなどは、土の状態を見ながら早朝に水をあげてください。真夏の間は、早朝と夕方に水を与えるとよいでしょう。
- * 花を長く楽しむためには、花がらをこまめに摘み取ることが大切です。花数が減ってきたら、半分くらいの高さに切り戻すと再び咲き出します。



11月

◇赤や黄色の落ち葉。遠目に見ると、キバナコスモスの花が一面に咲いているようです。

◇校庭は、少しずつ冬支度が進んでいます。



キバナじまいの 季節になりました

11月も中旬を過ぎ、週間予報に雪マークが付き始めました。

キバナコスモスはまだ花を付けていますが、雪が降る前にと「キバナじまい」をすることにしました。

キバナコスモスはとても丈夫です。大きなものは木の幹のようになっています。「キバナじまいはかなり難儀なこと」と覚悟をしていましたが、校務員の〇〇さんの手にかかれば何のその。「そろそろキバナじまいでしょうか」という話題が出た翌々日には、こんな様子になりました。



少し寂しい気もしますが、手元には今年の種がたくさんあります。

学校をオレンジ色に染めようと全校でチャレンジした令和5年。令和6年には、もっと広くもっと美しくオレンジ色の花を咲かせられたらと思います。



◇ 11 / 21、天王小の友達と交流しました。1年生から4年生までが、バスに乗って天王小学校に行きました。校舎を一巡したり、学年ごとにミニ交流をしたりしました。一緒に読み聞かせも楽しみました。

◇各学年で、キバナコスモスの種をプレゼントしました。天王小の校庭や天王小の友達の家にも、オレンジ色の花が咲いたら素敵です。

